

(都) 大安寺柏木線及び(仮称)新駅西口広場の事業認可説明会

議事要旨【大安寺地区】

○日 時：平成30年3月18日(日)
○時 間：18:00~19:00
○場 所：大安寺小学校 体育館
○出席者：75名

【行政側(奈良県及び奈良市)からの説明】

「(都) 大安寺柏木線 及び (仮称) 新駅西口駅前広場の整備に係る事業説明会資料」を説明

【質疑応答】

(質問) 八条川を暗渠にするのか。

(回答) 大安寺柏木線の歩道の下にボックスカルバートの構造で八条川を流していくという計画になっています。

(質問) 開発開発で川のことは何もしないのか。八条川があふれて、元牛乳屋の交差点のところから溢れて、いつもうちの倉庫に水が入る。開発するなら先に水を何とかしてほしい。

(質問) 八条川について、奈良市河川課からは、八条川を底下げして、JRが高架になったらJRの下を大きなヒューム管にかえるというような話をきいている。県と市は連携をとって八条川は暗渠になるのか。

(回答) 大安寺地区の浸水の最大の原因が、JRの真下のところで断面が非常に小さくなっており、その前後区間の方が広がっていることから、ここがボトルネックとなり水がバックして前に進まず、その結果として元牛乳屋の交差点周辺で氾濫していると奈良市河川課から聞いています。今回、奈良市の治水対策の計画に基づき、工事にあわせて大きな断面のボックスカルバートに替えることで解消できると考えています。

(質問) JRの下の水路を大きな断面にかえることで氾濫が回避できるのか。

(回答) 浸水対策については以前より地元の方からご質問も受けているので、事前に市の河川課に確認したところ、以前に調査を行い、十分な対応能力がある計画を作成しており責任をもって進めると聞いています。

(質問) ボックスカルバートと現状の断面をみれば、そんなに今と大きさがかわってないが、問題ないのか。川が溢れているということは、断面が小さいからではないか。JRの真下は狭いがその付近は溢れていない。雪印牛乳のところがいつも溢れている。八条川をもと広くする必要はあるのでは。

(回答) 八条川については、奈良市の河川課と協議します。

(質問) 大安寺柏木線の南に耕作地が残るが、八条川からの取水はどうなるのか。この付近の水利は、八条水利組合となっているが、八条水利組合と話をしていくのか。

(回答) 今後、用水路などの機能復旧については、詳細設計を進めるなかで協議させていただきます。なお、八条水利組合が管理されているところについては、まずは、八条水利組合にお声かけして進めていきたいと考えています。

(質問) 地下に新駅の雨水プールを設置するということが、深さ等を示した具体的な見取り図的なものはあるのか。私の家に井戸水を引いているが、その貯水池が深すぎた場合、地下水の水脈の流れがかわる可能性があるのか。また、それについての調査等の対応は考えているのか。

(回答) 詳細な構造図というのは現在ないですが、150m³の雨水を貯水できる能力を持たせる計画で、北側の県道に並行する既存の水路に自然流下という形で流させてもらいますので、今ある既存の水路よりも深くなる構造にはしない予定です。

(質問) (仮称) 奈良ICの工事の進捗はどうなっているのか。具体的にいつになるのか。

(回答) (仮称) 奈良ICを含めて大和北道路については国の方で事業を進めており、現在用地買収に向けて用地交渉や測量設計等を進めている段階で、まとまった土地が確保出来次第、文化財保存の調査並びに工事着手の予定と国から聞いています。県としては、西九条佐保線大安寺柏木線等の整備にあわせて(仮称) 奈良ICもできるように国に対して要望を行っている状況です。

(質問) 大安寺柏木線の話ではないが、JR関西本線の高架化による電波障害の対応について、よくわからないので、どうなるのかお伺いしたい。

(回答) 対応としては、鉄道の高架や道路のランプ橋の工事着手をする前に複数の調査地点を選定し、電波受信の障害発生調査を行う予定としています。その調査の結果、電波障害が起こることが想定される範囲につきましては、各ご家庭のどのような局、チャンネルが受信されているかを調査し、高架構造物を構築する前に対策したいと思っています。また、事前調査の結果障害が起こらないと想定される場合でも、実際に電波障害が発生した場合は対応させていただきます。

(質問) 大安寺柏木線と、西九条佐保線、高架化との工程の関係がわからない。西九条佐保線、JR高架化工事と柏木線の工事は同時に終わるとのことか。

(回答) 平成36年度を目途に同時に終わる予定です。